

〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

5月報

インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ 昨年末から月に1-2件の報告が続いていましたが、5月に報告はありませんでした。

小児科定点

（全体傾向）

報告総数1,400件（前月比0.64、前年比1.70）と4月からは減少していますが昨年同時期と比べると高い推移を示しています。RSウイルス感染症は前月比0.33と流行のピークを越えましたが例年と比べて今月はまだ非常に多くの報告があります。また今月は手足口病の報告件数が増加しています。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症 : 372件（前月比0.3）の報告です。昨年（令和2年）は年間を通してほとんど流行がありませんでしたが、今年（令和3年）は1月より例年になく流行をしています。年齢別では0～2歳児が中心ですが、3歳・4歳でも2桁の報告がありました。八代（定点あたり15.75、63件）が最も多く、水俣（同10.00、20件）、熊本（同9.69、155件）、菊池（同8.80、44件）と続いています。先月と同様に、阿蘇を除き県下から報告があります。ただし先月と比べ報告数は減少しており（前月比0.3）流行のピークは越えたようです。
2. 咽頭結膜熱 : 報告数57件（前月比1.0、前年比1.8）と例年同様の推移とされます。1歳は27件で報告の約半数を占めています。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 報告数70件（前月比0.7、前年比0.6）です。昨年（令和2年）5月以来報告数100件前後の報告が続いています。昨年春以降、高水準の報告はありません。0歳（6ヶ月以上）～10歳代までの幅広い年齢から報告があります。人吉（定点あたり2.67、8件）、菊池（同2.20、11件）、熊本（同2.06、33件）に多いようです。山鹿、阿蘇を除き県下より報告があります。
4. 感染性胃腸炎 : 報告数448件（前月比1.1、前年比1.6）と昨年とほぼ同様の動きです。全年齢層から報告があります。多くの地区から2桁の報告がありますが、特に多いのは山鹿（定点あたり18.5、37件）、菊池（同17.00、85件）、八代（同12.25、49件）、有明（同10.60、53件）です。
5. 水痘 : 報告数27件（前月比0.8、前年比0.6）です。例年よりも低い水準を推移しています。20歳未満で、2歳以外のすべての年齢で1～5件の報告があります。阿蘇、御船、水俣からの報告はありません。
6. 手足口病 : 報告数117件（前月比2.5、前年比4.9）と今月はより増加しています。特に報告が多いのが御船（定点あたり5.33、16件）、熊本（同4.44、71件）です。年齢は1歳から3歳が中心です。
7. 伝染性紅斑 : 報告数12件（前月比1.3、前年比0.8）と昨年とほぼ同様の動きです。御船（定点あたり1.33、4件）、八代（同1.25、5件）の報告がありました。年齢は1歳（6件）が最も多いようです。
8. 突発性発疹 : 報告数134件（前月比0.7、前年比1.0）と、例年同様の推移とされます。菊池（定点あたり5.60、28件）、宇城（同3.50、14件）に多いようですが、阿蘇を除き県下から報告があります。
9. ヘルパンギーナ : 報告数21件（前月比0.8、前年比1.4）と例年と比べこの時期ではまだ増加していな

いようです。21件中12件は天草からの報告です。1～2歳を中心として幅広い年齢からの報告です。

10. 流行性耳下腺炎 : 報告数7件(前月比1.0、前年比0.6)と昨年からの低水準が続いています。有明から3件、熊本2件、水俣、天草から1件の報告がありました。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎 : 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎 : 報告数19(前月比0.7、前年同月1.1)と増加はありません。熊本15件、八代1件、有明2件、天草1件の報告です。

STD定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が13医療機関から16医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症 :
報告数64件(前月比1.0、前年同月比1.1)で、前月比、前年同月比とも著変なく、男女別は男性が34件、女性は30件でした。年齢別では男性が15～64歳と幅広い年代に、女性は15～39歳にみられていました。地区別は熊本市が54件と圧倒的に多く、有明が3件、菊池・御船・宇城が2件、人吉が1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症 :
報告数21件(前月比0.8、前年同月比1.1)で、前月比、前年同月比共に著変ありませんでした。男女別は男性が7件、女性は14件と女性に多くみられ、年齢別では男性が20～54歳、女性は15～70歳以上と幅広い年齢にみられていました。地区別は熊本市が9件、八代が7件、菊池が2件、御船・宇城・天草が1件でした。
3. 尖圭コンジローマ :
報告数は4件(前月比0.3、前年同月比0.4)で、前月比、前年同月比共に著減していました。男女別では男性が3件、女性が1件で、年齢別では男性が20歳～34歳、女性は25歳～29歳で、地区別では熊本市が3件、有明が1件でした。
4. 淋菌感染症 :
報告数は11件(前月比0.5、前年同月比0.6)で、前月比、前年前月比共に減少しており、男女別では男性が10件で、女性は1件のみでした。年齢別では男性が20～49歳に、女性は25～29歳で、地区別では熊本市が9件、有明が2件でした。

基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 :
報告数は12件(前月比:1.5、前年同月比:0.5、男女比:7/5)と増加傾向でした。熊本(4)、菊池・人吉・有明(2)、阿蘇・水俣(1)でした。年齢分布としては70歳以上(9)、65-69歳(2)、60-64歳(1)と高齢者に限局していました。
▼例年より少なめも増加傾向にあります。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 :
報告数は2件(前月比:0.4、前年同月比:2.0、男女比:0/2)と減少傾向でした。有明・天草(1)でした。年齢分布としては0歳(1)、60-64歳(1)でした。
▼減少し、例年並みとなっています。

3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：

報告数は1件（前月比：1.0、前年同月比：1.0、男女比：0/1）でした。有明(1)で、70歳以上(1)でした。

▼例年同様に散発性に認められます。

（週報分）

1. 細菌性髄膜炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼例年より少ない報告数です。
2. 無菌性髄膜炎： 報告数は1件（前月比：0.5、前年同月比：0.5）と減少傾向でした。熊本(1)で60-64歳(1)でした。
▼例年より少なめで推移しています。
3. マイコプラズマ肺炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼例年より少ない報告数です。
4. クラミジア肺炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼例年並みの報告数です。
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：
報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼昨年同様にほぼ報告はありません。

届け出対象感染症

1類感染症	： 報告はありませんでした。	
2類感染症	： 結核	14件
3類感染症	： 腸管出血性大腸菌感染症	7件
4類感染症	： 重症熱性血小板減少症候群	1件
	日本紅斑熱	2件
	つつが虫病	1件
	レジオネラ症	2件
5類感染症	： カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4件
	侵襲性肺炎球菌感染症	1件
	梅毒	6件
	百日咳	1件
	急性脳炎	1件
	ウイルス性肝炎	1件
	アメーバ赤痢	1件
新型インフルエンザ等感染症	：	
	新型コロナウイルス感染症	1,963件